

農問研ニュース 第20号

2020年7月6日

◆本号の内容

1. 2020年度春季大会の中止について
2. 各種規程の改定について
3. 2020年度秋季大会について（開催案内、春季大会シンポジウム、個別報告の募集）
4. 若手研究者研究助成事業について（2020年度募集）
5. 会費減額制度のご案内
6. 2020年度常任幹事会体制が決定しました
7. 2020年度総会議事要旨
8. 事務局から

1. 2020年度春季大会の中止について

(1) 2020年度春季大会は中止となりました。

2020年度春季大会を3月26日（各種会議）、27日（シンポジウム・総会）に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大によって、日本農業経済学会大会が2020年5月30日、31日に（当初）開催を延期したことに伴い、本学会の2020年度春季大会も延期としました。その後、5月または6月への延期を検討しましたが、日本農業経済学会大会が中止となったこと、および新型コロナウイルスの影響の収束の目途が立たないことから、本学会も開催は困難と判断し、2020年度春季大会は中止としました。

開催を予定していた春季大会シンポジウムと総会については、以下のように対応することになりました。総会は、先日会員に向けて開催した関係資料の回覧によるオンライン総会にて議事内容の仮承認を得ておりますので、秋季大会にて本承認を得ることを予定しております。春季大会シンポジウムの内容につきましては、秋季大会を2日間開催することで、シンポジウムと個別報告を開催し、会員の皆様に参加していただけるよう準備しております。

なお、春季大会とともに開催される学会賞選考委員会も開催されていないため、学会賞の選考は秋季大会時に行います。

2. 各種規定の改定について

(1) 幹事の職にかかわる会則の見直しがされました

現在「農業問題研究学会会則」では【組織】について以下のように定めている。

第8条 本会は、会員から幹事を総会の承認をもって選出し、幹事会を構成する。（以下略）

第9条 幹事の中から互選にて常任幹事を若干名選出し、常任幹事会を構成する。常任幹事は、企画、運営、会計、編集、事務等の実務のうち、少なくとも1つの実務を司り、責任をもつ。（以下略）

第13条 幹事の任期は2年とし、連続しての再選は2期までとする。

第14条 代表幹事・副代表幹事の任期は2年とし、再選はしない。

会則にのっとると、2019年度の常任幹事6名のうち、1名は代表幹事の任期（2年）を終え、2名は常任幹事の任期が4年を経過し、2名は幹事（全国幹事）の任期2年、常任幹事の任期2年を終えて改選となる。つまり、2020年度に6名のうち5名が改選となり、常任幹事の職を継続する者は1名のみとなる。

現在常任幹事の職を勤める者のうち、大多数が入れ替われば、学会運営に支障を来す可能性が危

惧されることから、以下のように会則の見直しが提案され、オンライン総会において承認された。

第13条 幹事の任期は2年とし、連続しての再選は(原則)3期までとする。ただし、常任幹事となった場合は、それまでの幹事の任期に関わらず、2期務めることができる。

附則：なお、この規約は2016年度以降の役員に適用する。

3. 2020年度秋季大会について(開催案内、春季大会シンポジウム、個別報告の募集)

2020年度秋季大会の開催日が決まりましたので、お知らせいたします。

【日時】 2020年11月28(土)29日(日)

【会場】 調整中(明治大学を予定しているが、オンライン開催も検討中)

2020年度農業問題研究学会秋季大会は2日間の開催を予定しております。一日を春季大会シンポジウム、もう一日は個別報告の開催を予定しております(プログラムの詳細は検討中です)。今年度は分科会の募集をいたしません、ご了承ください。個別報告のエントリーについては、学会ホームページに募集要項を掲載しましたので、会員の皆様の積極的なご応募をお待ちしております。なお、個別報告の登録は、2020年8月31日(月)が締切となっております。

なお、今後の情勢の影響により大会内容に変更が生じる可能性があります。

【シンポジウム(2020年度春季大会シンポジウムの延期開催)】

小農理論と発展途上国の多様な稲作農業の実態の接合

【趣旨】

今日のグローバル経済下においては、小農経済がボーダレス化した市場経済と直接的に対峙している。その中には、企業に取り込まれるものや不利な条件での取引を続けているもの、生産手段を失うもの等もみられ、多くの国において小農経済の縮小方向での変化が指摘されている。

一方、国連は2019-2028年を「国連家族農業の10年(United Nations Decade of Family Farming)」としている。そこでは、家族農業が世界の食料生産額の8割以上を占める主要な農業経営形態であり、社会経済・環境・文化等多様な側面で重要な役割を担っていること、また、地域経済・文化の一部として多くの農業・非農業の雇用を創出していること等が示されている。また、2018年12月には「小農と農村で働く人びとの権利に関する国連宣言(United Nations Declaration on the Rights of Peasants and Other People Working in Rural Areas)」が第73回国連総会で採択された。採択に際し、アメリカやオーストラリアは反対、日本やEUの複数国が棄権したが、国連的潮流においては、Family Farming や Peasant の存在やその役割の重要性の今日的な再認識、及びそれらを取り巻く経済社会の動きに注目が集まっている。本学会でも、2019年度秋季大会特別セッション「今日における農業問題研究の方法論的展開方向を考えるー国際的な農業食料政治経済学の主要潮流との接点という視点からー」において、平賀緑氏より世界経済における資本蓄積と食料システムの変容について、池上甲一氏より変質するグローバル化の下で農民主体論の構築についての報告があった。その報告及び討論において、古典的な小農論に加えフードレジーム論や再小農化論等の新たな視点からの資本主義経済と小農経済の関係性、小農の定義や評価、資本主義経済と小農経済を対峙させる理論的枠組みについての熱心な議論が行われたところである。(秋季大会特別セッションの資料については、学会HPに掲載されている)

本シンポジウムでは、本学会で蓄積されてきた小農経済に関する議論を改めてふまえた上で、激変するアジア・アフリカの今日的な稲作農民の実態に注目し、その理解を深めることを目的とする。

第1報告では、横山英信会員(岩手大学)に古典的な小農規定を現代的な文脈から再整理していただき、日本の稲作経営を念頭おいた今日の実態掌握に有効な理論的視座をご提示いただく。第2報告から第4報告までは、発展段階の異なる途上国における稲作農民や米市場のアップデートな実

態を中心にご報告いただく。第2報告は佐々木智氏（株式会社サタケ）によるタイの事例、第3報告は辻一成会員（佐賀大学）によるベトナムの事例、第4報告は横山繁樹会員（国際農林水産業研究センター）によるアフリカ（マダガスカル）の事例である。我々がこれまで想定してきた小農的稲作経営との共通点や相違点、あるいは今日におけるその強靱性や脆弱性に注目し、今後の稲作農業を中心とする地域農業構造のあり方をグローバルな視野から問う場になることを期待する。

【座長】 矢野 泉（広島修道大学） 【副座長】 中村 勝則（秋田県立大学）

【報告】

第1報告「小農経営の特徴を踏まえた現代日本農業問題の経済理論的検討—現状分析のための視座の提示—」横山 英信（岩手大学）

第2報告「タイにおけるコメ産業の変化—加工資本の視点からの報告—」佐々木 智（株式会社サタケ）

第3報告「工業化期ベトナムの小農経済と水田農業の変化（仮）」辻 一成（佐賀大学）

第4報告「マダガスカル農業を中心に（仮）」横山 繁樹（国際農林水産業研究センター）

【コメント】 高梨子 文恵（弘前大学）、山崎 亮一（東京農工大学）

4. 若手研究者研究助成事業について（2020年度募集）

2013年度総会において創設された「若手研究者研究助成事業」について、2020年度事業の募集を開始します。若手会員の皆さんの積極的な応募をお待ちしております。また、周囲に応募条件を満たす若手会員の方がいらっしゃれば、ぜひ応募をお勧めください。

締切は2020年10月31日（土）、2021年4月1日時点で22歳以上35歳以下の会員が応募できます。現在、入会1年目の会員も応募できるようになりました。その他詳しい内容や必要書類については、学会ホームページをご覧ください。なお、本事業の財源の一部には、名誉会員の方々から頂いた会費の前払い分が充当されています。

5. 会費減額制度のご案内

本学会では、学会員数の維持による学会活動の活発化のため、無職等によって会費の支払いが困難な一般会員については、本人の申し出により幹事会での承認をもって会費を3,500円に減額しています。「無職等」の内容は、①勤務していた職場を定年・任期満了によって退職した者、②大学院終了後にフルタイムの職に就いていない者、③その他、幹事会によって必要があると判断された者です。

会費の減額を希望される会員の方は、農業問題研究学会事務局までお問い合わせください。なお、今年度分の学会費の減額については、8月末までのご連絡をお願いいたします。

6. 2020年度常任幹事会の体制について

2020年度の常任幹事会体制が下記のように決まりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

代表幹事	秋山 満（宇都宮大学）
学会賞・研究助成担当（学会賞選考委員長）	小池（相原） 晴伴（酪農学園大学）
大会企画担当	楨平 龍宏（大月短期大学）
大会事務担当	堀部 篤（東京農業大学）
事務局担当	曲木 若葉（農林水産政策研究所）

庶務担当

竹島 久美子 (愛媛大学)

7. 2020 年度総会議事要旨

2020 年 3 月 27 日 (金) に、2020 年度通常総会が予定されていましたが、春季大会が中止となったため、オンラインにて開催されました。承認事項は秋季大会時に本承認を得る仮承認の形になりますが、承認を得たものとして進めさせていただきます。主要な議事の内容は以下の通りです。

(1) 報告事項

- ・若手研究者研究助成事業の対象者について報告があった。

研究課題：戦後農本主義と学校教育 ―学校教育における農業体験学習に着目して―

氏名：渡邊 綾

所属：一橋大学大学院社会学研究科 博士後期課程

研究課題：上伊那地方における新規就農者の出現・経営規模拡大と農業恐慌からの回復

氏名：天野 元暁

所属：東京農工大学農学府 修士課程

- ・2019 年度の大会開催状況、幹事会開催状況、常任幹事会開催状況等について報告があった。
- ・編集委員会の開催状況、会誌発行状況 (2 号発行) について報告があった。
- ・会員数とその増減について報告があった。

2019 年度期首：200 人 (うち資格喪失猶予者：12 人 正味の会員数：188 人)

→2019 年度期末 (2/28)：(新規入会者：5 人 退会者：5 人 (資格喪失猶予者 2 人を含む)

鬼籍：1 人 資格喪失猶予予定：2 人)

2020 年度期首：199 名 (うち資格喪失猶予者：12 人 正味の会員数：187 人)

- ・会費納入状況について報告があった。

2019 年度会費納入率：75.9% (昨年度 61.9%)

長期滞納者は、5 年分未納者 2 人、4 年分未納者 2 人、3 年分未納者 3 人

(2) 承認事項

- ・2019 年度決算案について承認された。
- ・2020 年度新体制 (幹事会・編集委員会・会計監査) について承認された。

◆新幹事 (19 名)

【北海道】・小池 (相原) 晴伴 (酪農学園大学) ・村上良一 (拓殖大学北海道短期大学)

【東北】・石井圭一 (東北大学) ・林英俊 (秋田県立大学)

【関東】・秋山満 (宇都宮大学) ・新井祥穂 (東京農工大学)

・軍司聖詞 (早稲田大学) ・澤田守 (農業・食品産業技術総合研究機構)

・堀部篤 (東京農業大学) ・古田恒平 (明治大学)

・曲木若葉 (農林水産政策研究所) ・槇平龍宏 (大月短期大学)

【北陸・中部】・李侖美 (岐阜大学) ・森久綱 (三重大学)

【近畿】・伊庭治彦 (京都大学) ・久野秀二 (京都大学)

【中国・四国】・竹島久美子 (愛媛大学) ・矢野泉 (広島修道大学)

【九州・沖縄】・磯田宏 (九州大学)

◆編集委員会関係

- ・新編集委員長 (任期：2020 年度)

山崎亮一（東京農工大学）

・新編集委員（任期：2020～21年度）

迫田登稔（農研機構・東北農研センター） 辻一成（佐賀大学） 倪鏡（農政調査委員会）

※参考：残任期間のある編集委員（任期：2019～20年度）

神代英昭（宇都宮大学） 椿真一（愛媛大学）

◆会計監査 澁谷仁詩（東京農工大学大学院） 小柴有理江（農林水産政策研究所）

（3）討議事項

- ・2019年度の事業計画が承認された。
- ・2020年度予算案が承認された。
- ・会則の改定が承認された。

8. 事務局より

会員の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、日常生活だけでなく研究活動や教育活動にも影響が出ていることかと思えます。本学会の常任幹事会の会議では数年前からオンライン会議を導入しておりましたが、春季、秋季の学会大会においてもオンラインでの開催を検討せざるを得ない事態となっております。今後の状況次第ではありますが、なるべく従来通りの学会活動ができるよう尽くして参りますので、ご助力のほどどうかよろしくお願い申し上げます。

また、学会にお問い合わせをいただく際には、運営側の勤務態勢の変更などによってすぐにご対応ができない場合があるかと思えますが、どうかご了承いただきますようお願いいたします。

【連絡先】 農業問題研究学会事務局

TEL : 03-5213-4330 FAX : 03-5213-4331

((一財) 農政調査委員会内 担当 : 竹井)

E-mail : jimukyoku@noumonken.sakura.ne.jp